

わかる! 解剖生理用語 チェック 1000

飯島治之著

電子版利用権付

Web サイトから
電子版が
ダウンロードできます
パソコン、スマートフォン、
携帯などで
どこでもチェック!



医歯薬出版株式会社



**この用語だけはおさえない
1050**

図番号はPart2の図と相互にリンクしています。

※このPDFはサンプル版のため、リンクされていない図番号がありますが、製品版ではすべての番号がリンクとなっています（リンクされているものはマウスポインタを図番号に移動させると指の形に変わります）

	名称/よみ	解説	大分類	分類
001	Rh因子 あーえいちいんし	血液型を表わすものの1つ。赤血球の膜表面にある抗原を指標とする。Rh ⁺ とRh ⁻ に区分される。日本人では約99%以上がRh ⁺ である。	 Physiology ☆☆	血液・免疫
002	RNA あーえぬえー → 図2	細胞内に存在する物質。リボ核酸の略称。DNAと異なり1本鎖構造で、mRNA、tRNA、rRNAに区分される。タンパク合成に重要な働きを果たす。	 Biochemistry ☆☆☆	代謝・細胞・組織
003	IgE あいじーいー → 図16B	免疫グロブリンの1つ。肥満細胞に付着して、ヒスタミンの放出を促進する。	 Physiology ☆☆☆	血液・免疫
004	IgA あいじーえー → 図16B	免疫グロブリンの1つ。粘膜表面での防御に関与しており、母乳中にも最も多く含まれる。	 Physiology ☆☆☆	血液・免疫
005	IgM あいじーえむ → 図16B	免疫グロブリンの1つ。感染の当初に出現し、細菌を凝集、溶解する。	 Physiology ☆☆☆	血液・免疫
006	IgG あいじーじー → 図16B	免疫グロブリンの1つ。血漿中に最も多く含まれ、液性免疫の主体となる。	 Physiology ☆☆☆	血液・免疫
007	アキレス腱 あきれすけん → 図20	下腿三頭筋の腱。人体で最も太い腱で、踵骨に付着する。踵を引き上げつま先立ちに作用する。踵骨腱(しょうこつけん)ともいう。	 Anatomy ☆	筋系
008	アキレス腱反射 あきれすけんはんしゃ	伸張反射の1つ。アキレス腱を叩くことにより下腿三頭筋が収縮し、足が底屈する。	 Physiology ☆	神経系
009	アクチン あくちん → 図18	筋タンパクの1つ。ミオシンとともに筋節を構成し、アクチンがミオシン側に滑り込むことにより筋が収縮する。	 Physiology ☆☆	筋系

	名称/よみ	解説	大分類	分類
043	胃腺 いせん → 図 41B, 43	胃の粘膜に分布する腺組織。噴門腺, 胃底腺(固有胃腺), 幽門腺に区分される。粘液と消化酵素を含む胃液を分泌する。	 Anatomy ☆	消化器系
044	イソフラボン いそふらぼん	植物に含まれるポリフェノールの1つ。大豆に多く含まれ, 女性ホルモン様の機能を行うと考えられている。更年期障害にある程度効果があるとされている。	 Biochemistry ☆	概論
045	胃体 いたい → 図 41A	胃にみられる構造の1つ。胃の中央の大部分を占める。	 Anatomy ☆	消化器系
046	1回換気量 いっかいかんきりょう → 図 35	呼吸における肺気量の1つ。安静時での1回の呼吸で出入りする空気量。約500mlである。	 Physiology ☆☆	呼吸器系
047	1回拍出量 いっかいはくしゅつりょう	→ 心拍出量 (p.65)	 Physiology ☆	循環器
048	胃底 いてい → 図 41A	胃にみられる構造の1つ。胃の上端のやや膨らんだ部分で, 気泡が貯まる。	 Physiology ☆	消化器系
049	遺伝子 いでんし → 図 2B	核内にある物質。個人の形態や機能を決定する物質で両親から受け継がれる。本体はDNAであり, 細胞分裂時には染色体上に規則的に配列する。	 Anatomy ☆☆	概論
050	イノシン酸 いのしんさん	クレオシドの構成要素の1つ。ADPが分解して生成される。鰹節などの旨味物質として広く知られている。	 Biochemistry ☆	概論
051	EPA いーピーえー → 図 3	エイコサペンタエン酸の英語略。α-リノレン酸からつくられ, 細胞膜を構成するエイコサノイドの前駆体である。	 Biochemistry ☆	代謝・細胞・組織

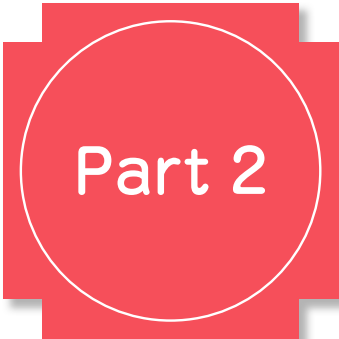
名称/よみ	解説	大分類	分類
胸腰髄出力 きょうようずいしゅつりょく → 図 64	交感神経系 の別称. 交感神経系の中樞が胸腰髄にかけて存在するので, この名称で呼ばれる.	 Physiology ☆	神経系
巨核球 きょかくきゅう → 図 16	血液幹細胞から派生した細胞の1つ. この細胞が断片化して 血小板 となる.	 Physiology ☆☆	血液・免疫
棘間線 きょくかんせん	骨盤計測 に用いられる線の1つ. 左右の腸骨の上前腸骨棘(じょうぜんちようこつきょく)を結ぶ線. 生体表面から計測できる. 日本女性の平均は約23cmである.	 Anatomy ☆	概論
キロミクロン きろみくろん	カイロミクロンとも呼ばれる. 脂肪の小滴. トリグリセリド の周囲がリポタンパクでおおわれた直径1μ以下の小滴で, 小腸上皮で吸収されリンパ管に送られる.	 Biochemistry ☆	概論
近位尿管 きんいけいさいかん → 図 46	腎臓 にみられる構造の1つ. 尿管 の一部で, ボウマン嚢 と ヘンレのループ の間にある管状構造. 水分, 栄養, 各種イオンの再吸収が行われる.	 Anatomy ☆	泌尿器系
筋節 きんせつ → 図 18	筋にみられる構造の1つ. 筋の最小の機能単位. アクチン 細糸と ミオシン 細糸で構成される.	 Physiology ☆☆☆	筋系
筋層 きんそう → 図 44B	器官(臓器)を構成する要素の1つ. 血管, 消化管, 分泌導管などの中層に分布し, それらの器官の収縮, 運動に関わる.	 Anatomy ☆	概論
筋組織 きんそしき → 図 10	四大組織の1つ. 収縮能力のある細胞の集団. 全身や各器官内に分布し, そこの運動に関与する. 骨格筋 , 平滑筋 , 心筋 に区別される.	 Anatomy ☆	代謝・細胞・組織
筋小胞体 きんしょうほうたい → 図 18	筋 にみられる構造の1つ. 神経からの刺激を受け, Ca(カルシウム)を放出し, 筋を収縮させる.	 Physiology ☆	筋系



	名称/よみ	解説	大分類	分類
293	血液-脳関門 けつえきのうかんもん	脳と血管との間にある関門。 グリア細胞 により形成され、ニューロンへの栄養の選択的透過を行う。	 Anatomy ☆	循環器系
294	血球 けつきゅう → 図 16	血液の構成要素の1つ。細胞成分ともいわれる。血液全体の40～45%を占める。血球はさらに 赤血球 、 白血球 、 血小板 に区分される。	 Physiology ☆☆☆	血液・免疫
295	月経 げつきい → 図 50	女性にみられる 性周期 の現象の1つ。妊娠が起こらなかったときに、 子宮内膜機能層 が脱落して起こる出血。	 Physiology ☆☆	生殖系・発生
296	月経期 げつきいき → 図 50	性周期 における 子宮周期 の1過程で、月経による出血がみられる時期。子宮周期の最初の6日間程度。	 Physiology ☆☆☆	生殖系・発生
297	結合組織 けつごうそしき	四大組織の1つ。各器官内に分布し、組織同士を結合する。細胞成分と線維成分で構成される。細胞成分には 線維芽細胞 、 脂肪細胞 、 肥満細胞 、 マクロファージ などがあり、線維成分には コラーゲン 、 弾性線維 、 細網線維 などがある。	 Anatomy ☆☆	細胞・組織代謝
298	血漿 けつしょう	血液の成分の1つ。血液の液体成分ともいわれ、全容量の55～60%を占める。成分は水分のほか、 グルコース 、 アミノ酸 、 血漿タンパク (アルブミン 、 グロブリン 、 フィブリノゲン など)、各種イオン、ホルモン、老廃物などが含まれる。	 Physiology ☆☆	血液・免疫
299	血小板 けつしょうばん → 図 16, 17	血球の1つ。 巨核球 の細胞質の断片で、大きさ2～5 μm 、数は15～40万個/ μl 、寿命は5～10日。血管損傷などの刺激で フィブリノゲン とともに血栓を形成し、止血に作用する。	 Physiology ☆☆	血液・免疫

	名称/よみ	解説	大分類	分類
667	体勢保持中枢 たいせいほじちゅうすう	中脳 にある機能中枢の1つ。中脳には 錐体外路系 の ニューロン の集合(赤核 , 黒質)があり, 骨格筋の収縮のバランスを調節している。	 Physiology ☆	神経系
668	大腿骨 だいたいこつ → 図 13	大腿 にある骨。人体で最も長い骨。上端は寛骨と 股関節 を形成し, 下端は脛骨と 膝関節 を形成する。	 Anatomy ☆☆☆	骨格系
669	大腿四頭筋 だいたいしとうきん → 図 19	大腿の前面にある大きな筋。四頭に分かれ, 末端は 膝蓋腱 となる。膝の伸展に作用する。	 Anatomy ☆	筋系
670	大腿神経 だいたいしんけい → 図 59D	腰仙骨神経叢 の枝の1つ。大腿の前面に分布し, 大腿四頭筋 の運動や大腿前面の皮膚の感覚を支配する。	 Anatomy ☆	神経系
671	大腿動脈 だいたいどうみゃく → 図 24	下肢 に分布する動脈。 外腸骨動脈 から出て大腿を下行する。脈を触知できる動脈の1つ。	 Anatomy ☆☆☆	循環器系
672	大腿二頭筋 だいたいにとうきん → 図 20	大腿後面 にある筋。 坐骨 , 大腿骨 と 脛骨 との間にあり, 膝関節 の屈曲に作用する。	 Anatomy ☆☆	筋系
673	大殿筋 だいでんきん → 図 20	殿部 にある大きな筋。 仙骨 と 大腿骨 の間にあり, 股関節 の 伸展 に作用し, 腸腰筋 と拮抗的な運動を行う。歩行に関わる重要な筋である。	 Anatomy ☆☆	筋系
674	大動脈弓 だいどうみゃくきゅう → 図 21B	大動脈 の一部。 上行大動脈 と 胸大動脈 の間にある弓状の部分で 腕頭動脈 , 左総頸動脈 , 左鎖骨下動脈 の3本の枝が出る。	 Anatomy ☆	循環器系
675	大動脈弁 だいどうみゃくべん → 図 21A	動脈弁 (半月弁)の1つ。 左心室 から 大動脈 へ至る基部に存在する。	 Anatomy ☆☆☆	循環器系



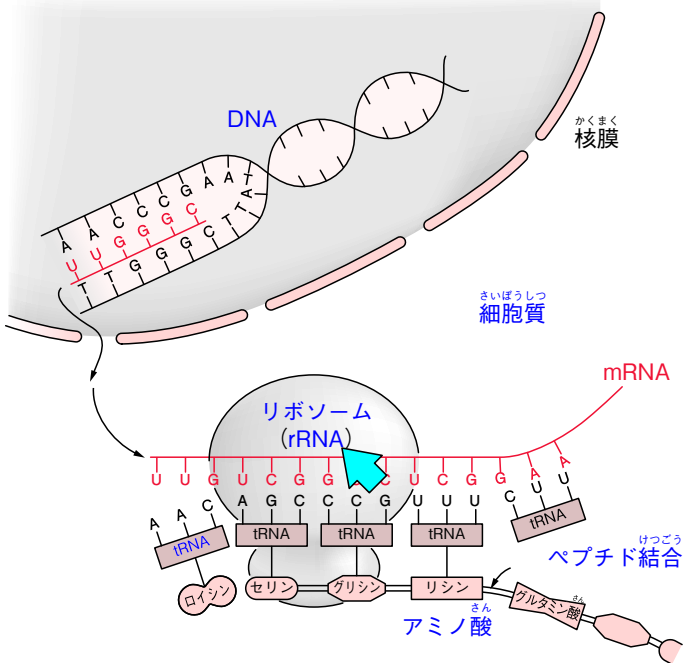


Part 2

図をみて覚える 解剖・生理の基礎

図2 遺伝子

A〈遺伝子発現(タンパク合成)〉



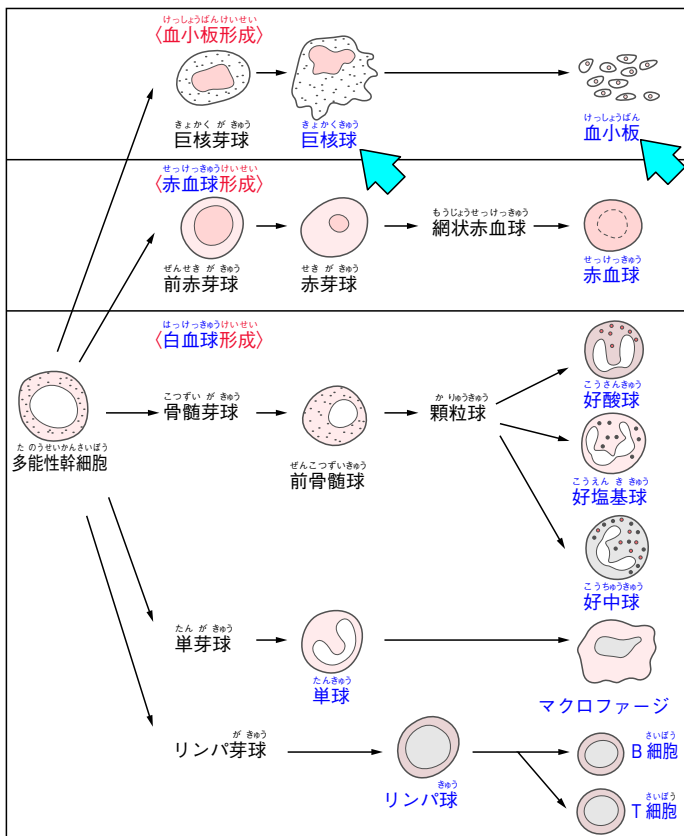
B〈遺伝子(染色体)〉

じょうせんしよくたい 常染色体	せいせんしよくたい 性染色体
7 13	Y X

(分染のチャートは, Paris Conference 1971 による)
ぶんせん

けつえきかんさいぼう

A〈血液幹細胞〉



めんえき

B〈免疫グロブリン〉

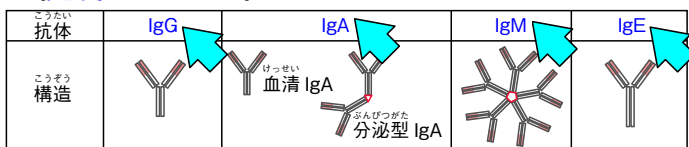


図 18 筋の構造

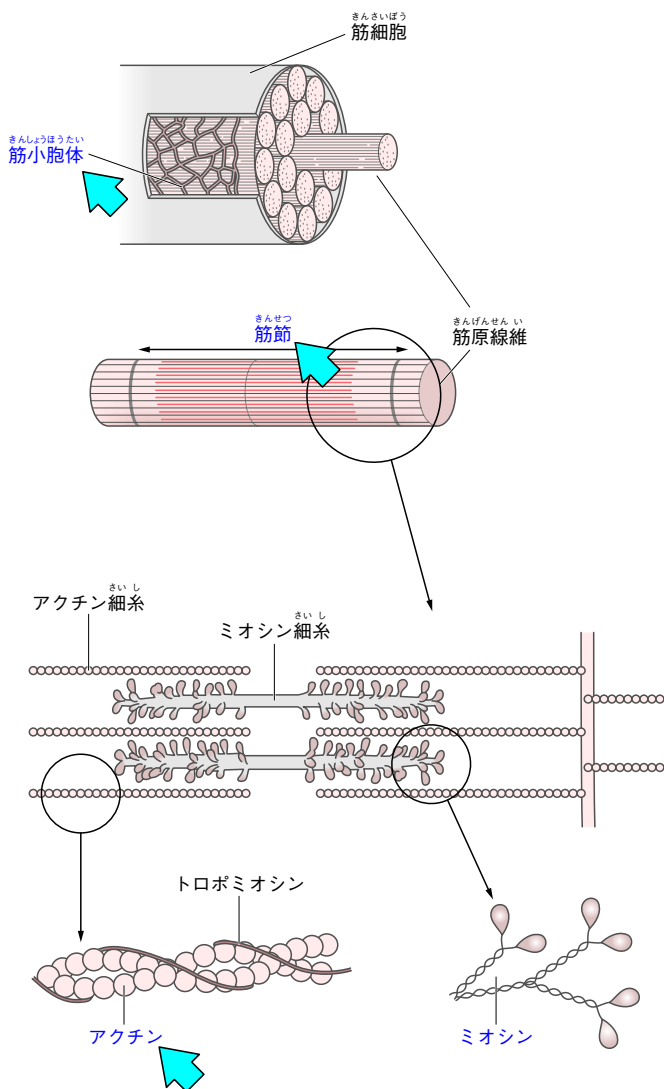


図20 筋(後面)

